

環境学習「第22回 地球温暖化とゴミ問題2018」



マイクロプラスチックを食べる魚→ ヒトへの連鎖



海水と陸水の循環

※「いらすとや」の環境問題イラストより

山 形 県
米沢中央高等学校
(2019年2月)





第5回グッドライフアワード

実行委員会特別賞
子どもと親子のエコ未来賞

取組名 **CO₂を重さに換算して実感
地球温暖化とゴミ問題
20年間の取組**

学校法人 椎野学園 米沢中央高等学校 殿

あなたの取組は
「第5回グッドライフアワード」における審査の結果
高く評価されました
よってここにその栄誉をたたえ表彰いたします

平成29年12月9日

グッドライフアワード実行委員会
委員長 益田文和



環境省
Ministry of the Environment

環境学習「第22回 地球温暖化とゴミ問題2018」

目 次

1. 調査資料の集計	1
2. 一人当たりの二酸化炭素排出量	3
3. 包装容器の消費量	5
4. 家族形態別の二酸化炭素排出量の比較	5
5. まとめ	7
6. 温暖化の弊害	8
7. 感謝とお願い	8
8. 提 言	8
9. 引用文献	9
10. 調査シート	10
11. 生徒および保護者のコメント	12

環境学習「第22回 地球温暖化とゴミ問題2018」

◆二酸化炭素排出削減を意識した生活習慣を確立しよう

本環境学習「地球温暖化とゴミ問題」は環境大臣表彰、環境やまがた大賞、グッドライフアワード実行委員会特別賞等を受賞しながらこれまで継続されてきました。毎日の生活に関わる主な品目ごとにその排出係数をかけることにより、日常生活から排出される二酸化炭素が重さに換算されることを知り、生活から排出される二酸化炭素を意識することができます。本校はこの移り変わりを20年以上まとめてきましたが、二酸化炭素を削減することの難しさを痛感しているところです。われわれが直接関わるができるのは家庭生活から排出される二酸化炭素の削減ですが、この家庭部門は大きな割合を占めています。地球環境保全のためにまず生活の現状を認識し、二酸化炭素削減のために生活の中でどうするべきなのかを考えていきましょう。

◆増え続ける家庭部門における二酸化炭素排出

1997年12月に京都議定書が採択され、日本では1990年を基準年として、この年の温室効果ガス排出量から6%削減することが義務とされました。そこで本校は1990年の本邦における二酸化炭素排出量からマイナス6%を達成できる一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量を113kg以下と試算し、これを目標と結果のレベルAの基準としてきました。環境省が発表した2016年度の温室効果ガス排出量(確報値)によると、二酸化炭素の排出量は基準年の11億6,100万トンから12億600万トンへと3.9%増加していますが、この中での家庭部門(家庭での冷暖房、給湯、家電の使用等)は基準年の1億3,000万トンから44.6%増の1億8,800万トンという大幅な増加となっています。削減に向けた生活の意識改革が早急に求められます。一方、国土交通省が発表した2016年度の自家用乗用車による排出量は9,926万トンで前年の1億12万トンと比べると、0.9%の減少となりました。燃費の改善傾向が原因の一つと考えられています。

◆全校平均は昨年より2.3kg 増加、そして、世界の年平均気温は依然上がり続けている

今年度の夏休み一ヶ月間における本校の一人当たりの二酸化炭素排出量は、昨年の152.1kgから2.3kg(1.5%)増加し、154.4kgとなりました。世界的にも二酸化炭素の増加傾向は止まるところを知らません。温室効果ガス世界資料センター(WDCGG)の解析による2017年の世界の二酸化炭素平均濃度は、前年と比べて2.2ppm増えて405.5ppmとなっていますが、これと相關するように、2018年の世界の平均気温(陸域における地表付近の気温と海面水温の平均)の基準値(1981～2010年の30年平均値)からの偏差は、+0.31℃で、1891年の統計開始以降、4番目に高い値となったということです(気象庁2019)。

はじめに

本校の環境学習「地球温暖化とゴミ問題」は夏休み一ヶ月間に各家庭で使用する電力、水道、ガス、灯油、ガソリン、軽油の使用量、包装容器のアルミ缶、牛乳パック、ガラス瓶、ペットボトル、スチール缶、食品トレーの個数をそれぞれ二酸化炭素排出量(kg)に換算し、各家庭におけるその合計を家族人数で割って、一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量(kg)を求めるという内容です。1997年から始まり、今年度は22回目を迎えました。結果を得るための実践活動を伴うことから、2003年からは総合学習の授業時数のうち7時間分として組み込まれ、2005年からは全校生徒が取り組んでいます。また、生徒だけではなく家族全員がこの課題に関わります。そのような意味で、今回の参加人数は総勢2,802名に達します。今年度の二酸化炭素排出量の結果と生徒および保護者の感想・コメント(236件)を家族みなさんに読んでいただいて、毎日の生活を点検し、改善していくヒントになれば幸いです。

1. 調査資料の集計

提出数は、全校生徒の98.5%にあたる575名であった。残りの1.5%は、残念ながら夏休み中の調査ができず未提出となってしまった。これらの生徒は冬休みに同様の調査を行ったが、季節が異なることから、ここでの集計には加えなかった。

家族人数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	18人	合計
提出数	1	24	99	157	143	93	33	9	4	12	575
有効数	0	22	81	125	114	72	26	7	4	1	452

家族人数毎の提出数と有効数を上表にまとめた。有効率(有効数／提出数)は78.6%であった(図1)。無効とする考え方と今年度のそれぞれの該当数を以下に示す。

- ①兄弟姉妹(13組)で通学しているため同一内容の調査結果となったのは、1枚だけ有効:無効13名
本項目は昨年より8名減少した。
- ②同一場所に下宿しているため、同一内容となったのは、1枚だけ有効:無効11名
- ③自営業(商店、事業所、農業など)の場合:無効26名

自営業で使用している電力やガソリン、軽油等の燃料を普通の家庭生活での使用量から分離することが不可能な場合、調査の目的が家庭における二酸化炭素排出量を調べることなので、きちんと調べていても無効とせざるを得ない。また、自営業でなくてもガソリンや軽油を仕事に使用している場合があり、この扱いが例年難しかったが、今回調査用紙中に選択肢を設けて区別した(無効40名)。

- ④電力消費量が未記入:無効6名

電力は二酸化炭素排出量の比率も大きく、また、電力消費のない家庭は考えられない。本項目は昨年より6名減少した。

- ⑤調査期間が20日未満:今年は該当がなかった。

- ⑥ガソリンやガスなどエネルギー関連あるいは包装容器のデータが未記入、あるいは不完全:無効22名
昨年より6名増えた。データの正確性、信用性を欠いているものは無効である。

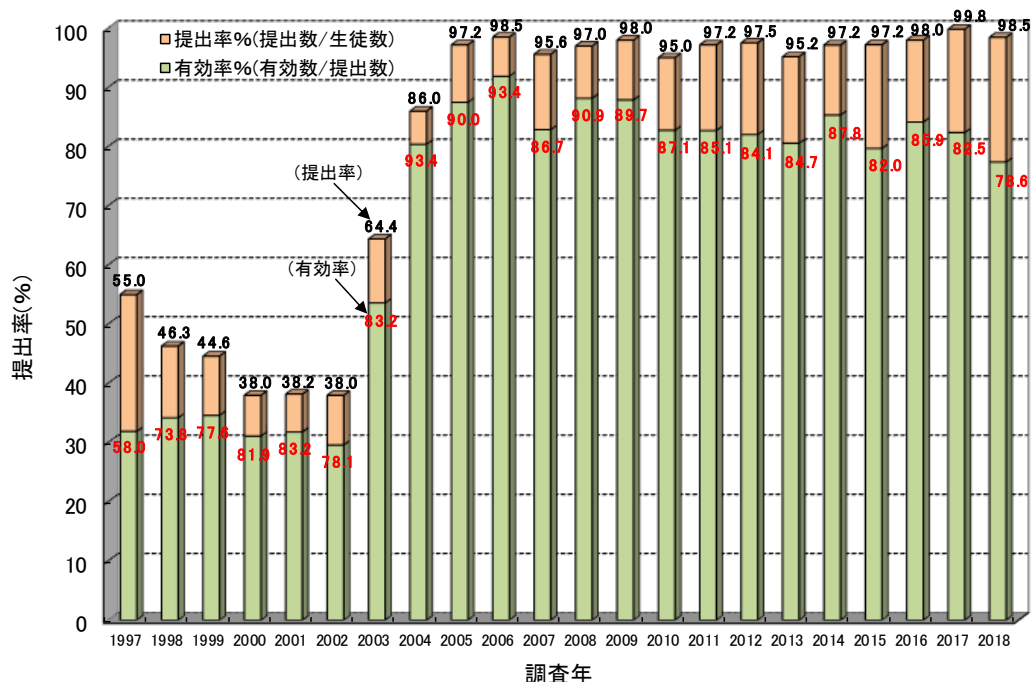


図1. CO₂排出量調査の提出率と有効率

⑦調査値が異常であるもの、通常の生活では不可能と考えられる値：今年は該当がなかった。

⑧他人の調査結果を写したもの：無効5名

以上合計123名が無効となった。このうち兄弟姉妹と同一場所での下宿、さらに自営業については仕方がないといえる。無効数は昨年より16件増加したが、調査用紙の改善により自営業ではないが、仕事のために燃料等を使用している場合を区別したことによると思われる。

今年も他人の調査シートを写した者が5名いたことは残念であった。しかし、それ以外の大部分は努力目標を設定してきちんと二酸化炭素排出量が算出されていた。そして、kg単位で示された結果を見て、その多さにおどろき、排出量削減の意識を改めて強くしたという感想が多かった。

おもな感想文236件を巻末に掲載したので、読んでいただきたい。

2. 一人当たりの二酸化炭素排出量

夏休み期間における一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量は、最小が44.1kg、最大は360.7kgとなり、平均は昨年の152.1kgを2.3kg上回る154.4kgとなった。度数分布は100kg以上150kg未満が166件(有効数の36.7%)で最も多い。今年是有効数が昨年より53件少ないが、平均値付近の100kg以上150kg未満は昨年の162件に対して4件(2.5%)増加し、300kg以上も昨年の8件から11件に増加したが、他の50kgの階級幅ではいずれも減少し、特に50kg未満が9件から1件に大きく減少した。結果的に散らばりの度合いが小さくなり標準偏差の値が昨年より小さくなったが、平均は2.3kgの増加となった(図2)。

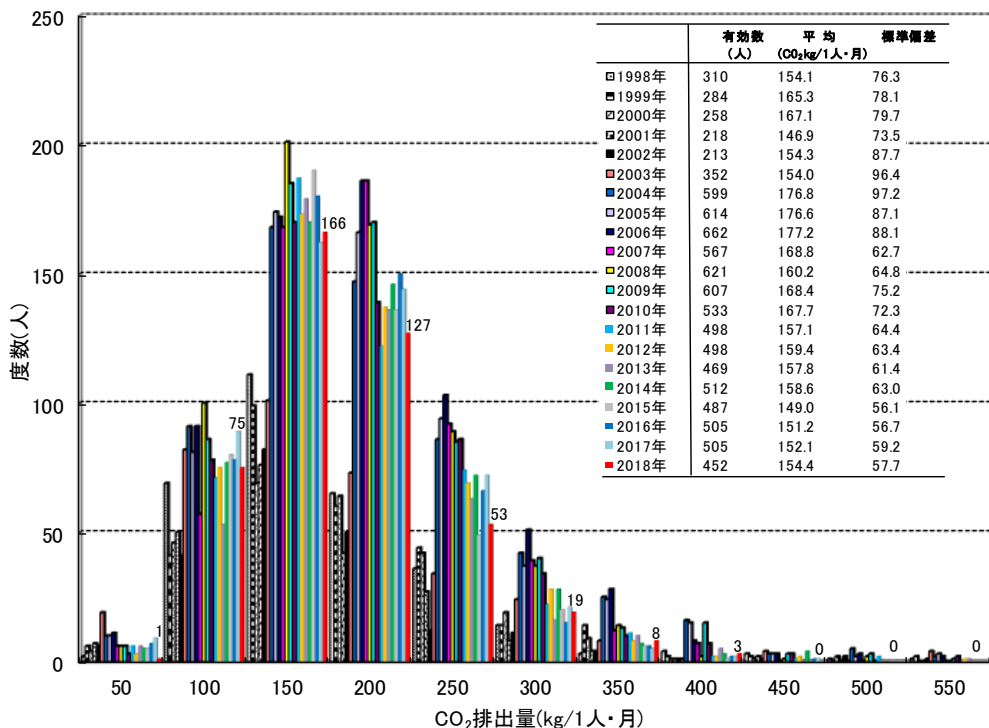


図2. CO₂排出量の度数分布

つぎに平均値に占める消費品目別排出量の比率を見ると(図3), 最も大きいのはガソリンであり, 次いで電力, 灯油, ガス, 軽油, 水道の順になっている。ガソリン46.03%, 軽油 2.19% を合わせて48.22%となり, 自家用車からの排出量比率が大きいのは相変わらずである。また, 電力31.46%, 灯油11.57%, ガ

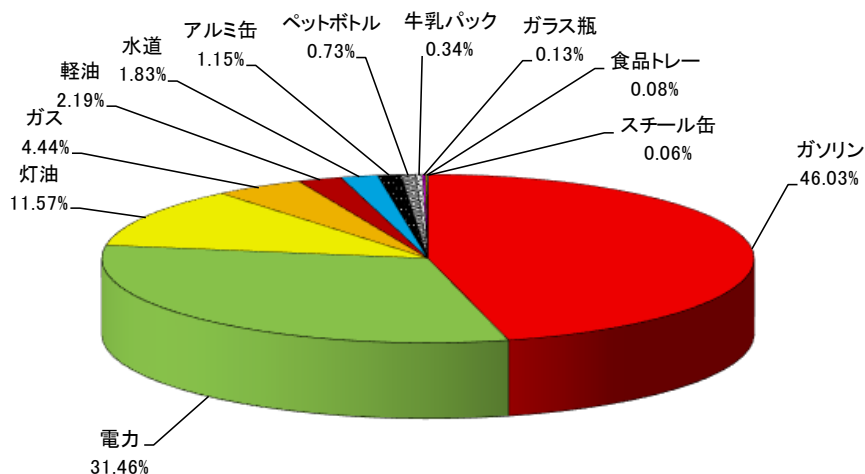


図3. 消費品目別CO₂排出量比率(2018年)

ス4.44%, 水道1.83%を合わせて49.30%となる。これは, 照明や冷房, 調理, 入浴, 洗濯などの生活維持に関わる二酸化炭素排出量比率である。包装容器は合わせて2.49%に過ぎない。

水道と包装容器類を除いた一人当たりヶ月間のエネルギー5品目毎の二酸化炭素排出量の合計は146.52kgとなり, 昨年より2.64kg増加した(図4)。品目毎に昨年と比較すると, 電力が2.79kg, ガソリンが2.69kg, 計5.48kg増加し, 軽油と灯油, ガスはそれぞれ2.00kg, 0.70kg, 0.14kgで計2.84kg減少した。今年度は軽油, 灯油, ガスが減少し, 二酸化炭素排出の主要な比率を占める電力とガソリン(図3)が比較的大きく増加した。エネルギー5品目による排出量合計は2015年以降, 3年連続で増え続けている。

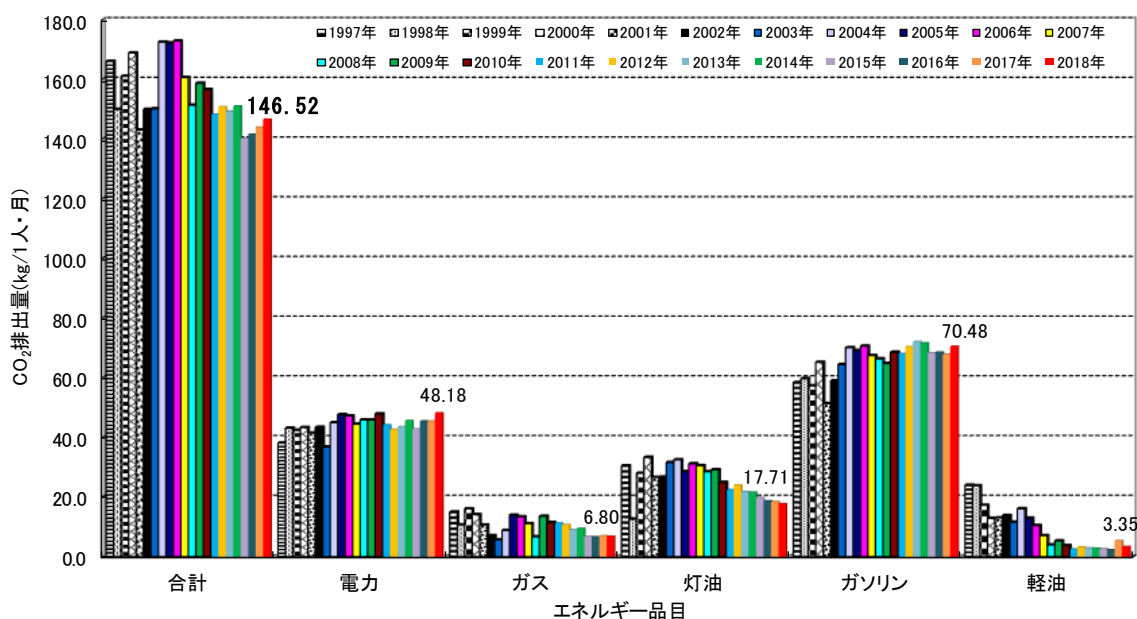


図4. エネルギー品目毎のCO₂排出量の比較

3. 包装容器の消費量

一人当たり一ヶ月間の各種包装容器類の消費数を昨年と比較すると(図5), 減少したのはガラス瓶の0.14個のみで, 他はすべて増加した。増加数の多いものは食品トレーの0.59個, ペットボトルは2.42個という大幅な増加となった。減少傾向を継続したのはガラス瓶のみで, 牛乳パック, スチール缶はそれに歯止めがかかり, アルミ缶, ペットボトル, 食品トレーの増加傾向はいよいよ継続的なものになってきた。ペットボトルについては段違いの増加を示した。結局, 一人当たり一ヶ月間の消費数合計は昨年より3.56個増加し43.94個となった。昨年初めて40個を超えたが, 今後の増加が懸念される。これを調査日数31日で割ると, 一人当たり毎日約1.42個消費していることになる。これらの包装容器類は環境ホルモンや不法投棄による汚染, さらに景観問題の他に, 最近マイクロプラスチック(表紙)の問題も警鐘が鳴らされている。今後の消費抑制に一層の努力が望まれるところである。なお, 包装容器の二酸化炭素排出係数はリサイクル, 再生時の排出を含めた値である。すなわち, リサイクルは資源の節約という観点からたいへん重要であるが, 二酸化炭素の削減にはならない。

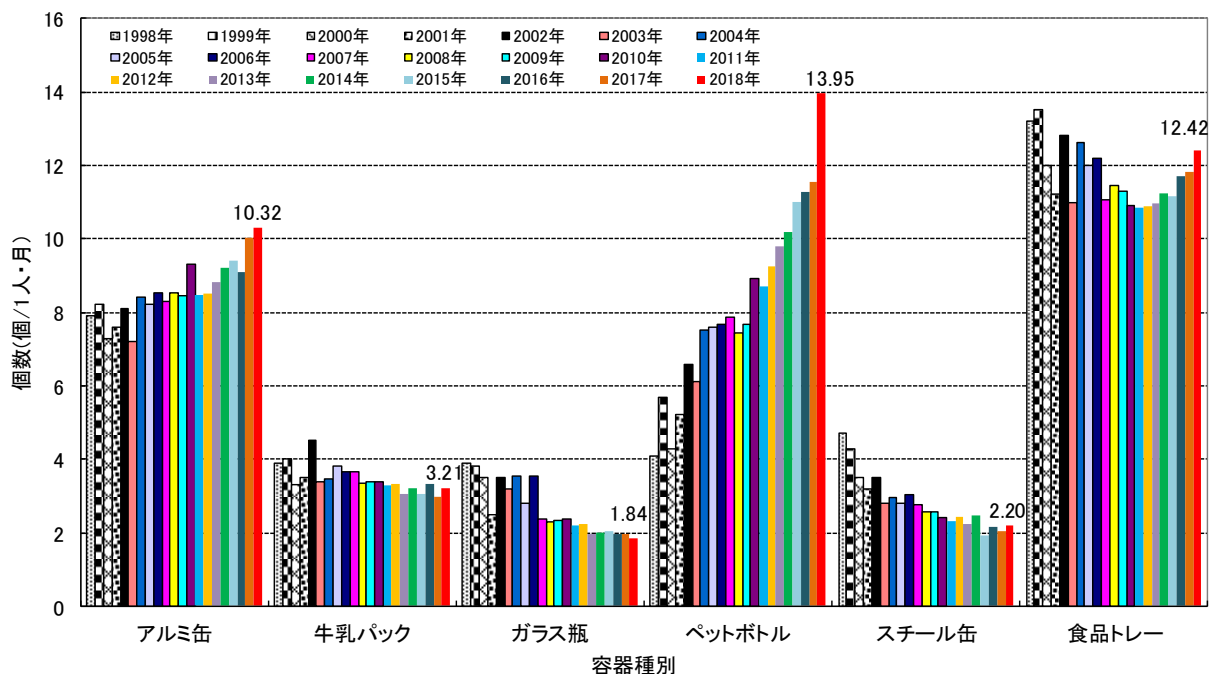


図5. 包装容器の消費個数(1人当たり1ヶ月)

4. 家族形態別の二酸化炭素排出量の比較

家族人数による二酸化炭素排出量の違いを見るため, 有効数の大部分(今年度は92.5%)を占める3~7人家族について一人当たり一ヶ月間の平均排出量を, 最近3年間についてまとめて示した(図6)。

家庭から排出される一ヶ月の総排出量を家族人数で割って一人当たり一ヶ月の排出量を求めるので, 家族人数(除数)が大きい方が少なくなるという一般的な考え方は, 最近は適合しなくなってきた。大人

一人一台の自家用自動車保有が進む中で、電力等も含めてガソリンを主としたエネルギー品目の各家庭での使用状況が大きく関わっていると考えられる。今年は2年連続で全体の二酸化炭素排出量が微増している中で、昨年との比較でいうと3人家族と7人家族で減少したが、有効数の

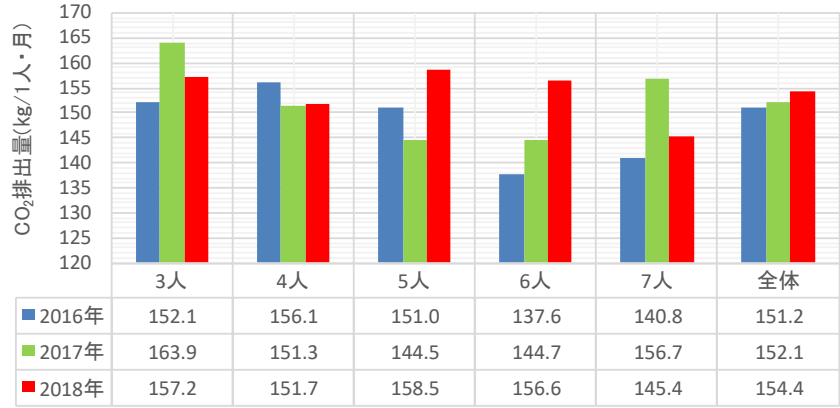


図6. 最近3年間の家族人数別一人当たりヶ月間の平均排出量

41.2%を占める5人家族と6人家族の世帯で大きく増加し、全体の平均値を押し上げたことがわかる。

エネルギー品目毎の家族人数別一人当たりの二酸化炭素排出量(図7)は、排出量比率の大きい方から見ると、昨年と同様にガソリンは図6の2018年の家族人数別一人当たり平均排出量の変化と同様であり、自家用自動車の主要な燃料であるガソリンが一人当たりの二酸化炭素排出量の多くを占めていることが改めてわかる。電力は7人家族で微増したが、3人家族から6人家族まで減少した。家電製品は家族共用のものが多いと考えられるので、個々の生活の多様化傾向はあると思われ

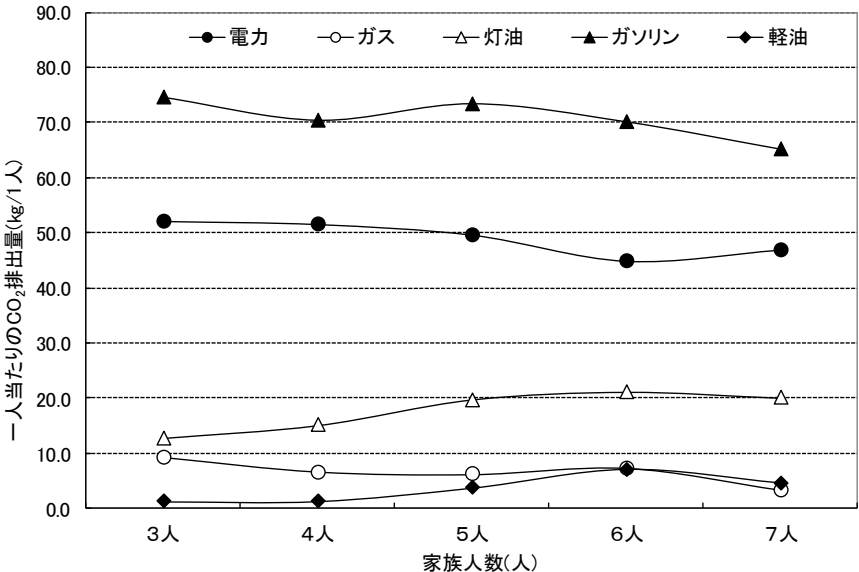


図7. エネルギー品目毎の家族人数別一人当たりCO₂排出量(2018年)

るが、家族人数が増えれば除数が大きくなり減少する。灯油は家族人数が多いほうが増える傾向にある。ガスについては大きな増減の変化はないが、オール電化住宅の増加に伴い、ガスを使用する家庭が年々減少している現状がある。軽油は6人家族と7人家族でのディーゼル車保有率の増加が表れているようである。

また、全二酸化炭素排出量の48.22%を占めるガソリンと軽油について調査期間における一世帯当たりの消費量(リットル)を家族人数ごとに表した(図8)。ガソリン消費量は家族人数が多いほど多くなる。大人一人に一台という所有台数の増加傾向が表れていると思われる。軽油消費量は7人家族では6人家族から少し減るものの、3人家族から6人家族にかけて明らかな比例関係が認められ、

家族人数が多くなるほどディーゼル車保有率の増加傾向が認められる。2014年の総務省統計局のデータによると、山形県は2人以上の世帯、1000世帯当たりの自動車所有数量が2111台（全国平均1377台）で全国1位ということである（やまがた県民手帳2019）。各家庭においては通勤などの移動手段として複数の自家用車が使用されている実情がある。燃費節約等工夫した利用が望まれる。

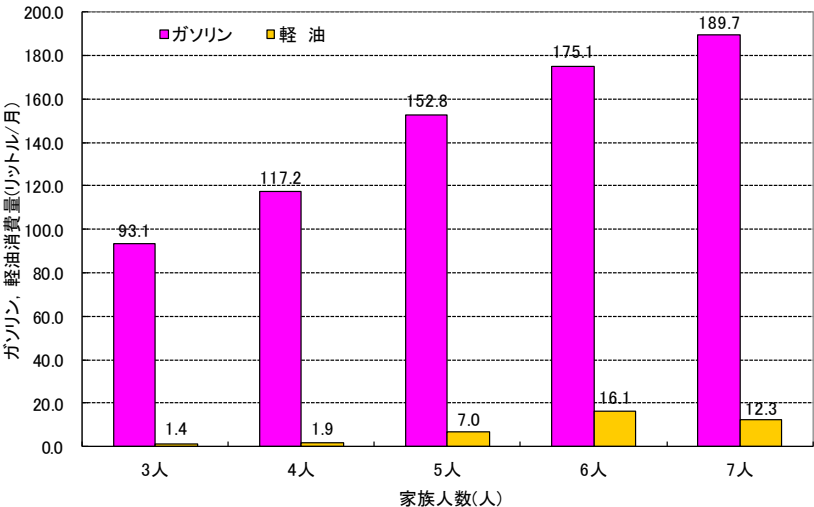


図8. 家族人数別平均ガソリン・軽油消費量(2018年)

5. まとめ

今年度の家庭における一人当たり一ヶ月（夏休み期間）の二酸化炭素排出量の結果をA～Dのレベルによって分類してみると（図9），1990年比－6％以下が達成されたレベルAは23.9％（有効数452件中の108件）であった。昨年在28.1％であったので，4.2％の比較的大きな減少となった。レベルBは17.0％から20.8％へ3.8％の増加，レベルCも22.2％から23.9％へ1.7％増加した。全国平均を超えるレベルDは31.4％（142件）となり，昨年の32.7％に比べ，1.3％の減少となった。今回はレベルAとレベルDが減少し，レベルC，Dが増加する結果となったが，図4で見たように電力とガソリンによる排出量が増えたので，レベルAの比率は厳しい結果となったが，その反面，節約する意識の高まりがレベルDの減少に現れたと思われる。レベルAは1990年比－6％以下が達成される範囲として，本校では当初から一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量として113kg以下と設定している。これは家庭で達成すべき日本の地球温暖化防止に向けての数値目標ともいえるが，図9を見ると，本校におけるその達成率は，今回は4分の1を超えることができなかった。

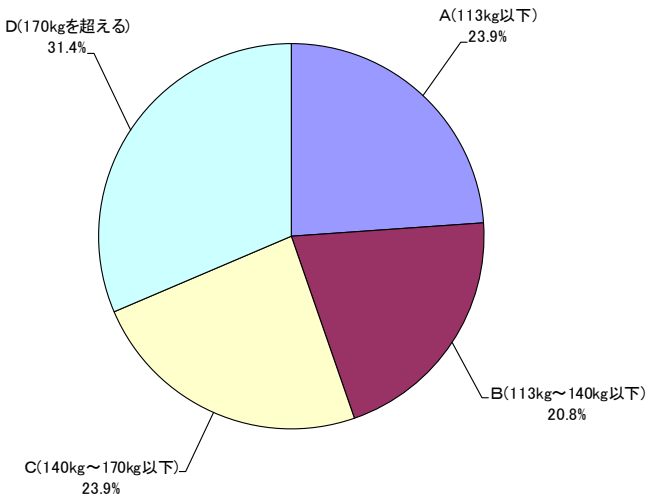


図9. 一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量(2018年レベルによる分類)

図10に図2凡例の有効数と一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量平均値（1998年～2018年の21年

間)について年度別にまとめた。2005年からは総合学習の課題として全校生徒が取り組んできたが、平均値はなかなか減少しなかった。2015年には150kgを下回ったが、以来3年間は再び150kgを超えて増加傾向も見えてきている。全校平均が近々に113kgを下回るのはかなり困難であるが、段階的な目標として、まずは150kgを下回ること为目标として取り組んでいきましょう。

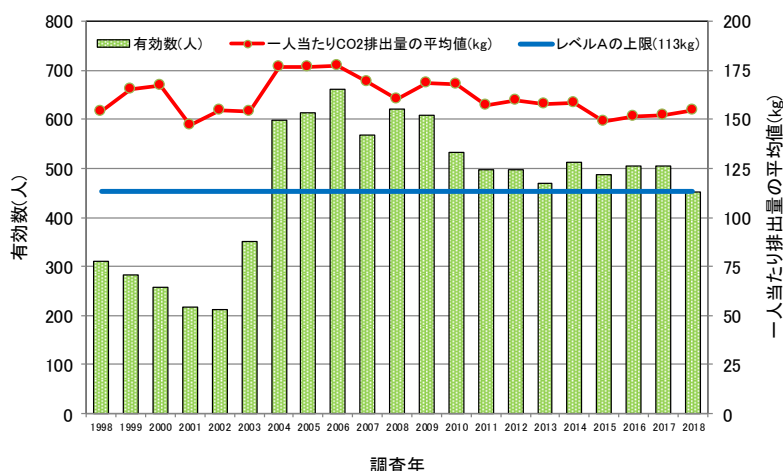


図10. 年度別有効数と一人当たり1ヶ月排出量の平均値

温暖化の弊害

温暖化がこのまま進行すると、地球環境に大変な影響をもたらすといわれています。例えば、気象変化の振れが大きくなっていき、気候が変動していくとされています。その結果、動植物などの生態系が荒廃し、ウイルスなどによる感染症が広がることも予想されています。

環境問題解決の基本として「3つの公正」が指摘されており、そのうちの一つに世代間の公正(次世代にツケを負わせない)があります。次の世代のためにも何とかしたいものです。

感謝とお願い

2018年度の本校における夏休みの二酸化炭素排出量の結果と生徒および保護者のコメントを掲載して、環境学習「第22回 地球温暖化とゴミ問題2018」の報告とさせていただきます。今年度も皆様方の熱心な取り組みにより、有意義な結果を得ることができました。

二酸化炭素排出量は依然として減少の傾向が見られず、京都議定書達成には程遠い状況です。環境問題は効果が表れるのに長い時間が必要であり、継続的な努力こそが最大の解決策であります。このことを一人一人が真摯に受け止め、今後の削減に努めていきましょう。

＜環境問題にとって最も重要なのは実践行動です＞

提 言 3つの削減工夫

これまで、皆さんとともにやってきた本校独自の温暖化調査の結果を踏まえ、次のことを提案します。

1. 自家用車利用削減の工夫(自家用車の利用回数を減らす等)
2. 電気やガス、灯油使用削減の工夫(節電につとめ、調理や入浴は効率よくする等)
3. 包装容器削減の工夫(包装の必要がないような買物等)

引用文献

環境省(2018):2016年度(平成28年度)の温室効果ガス排出量(確報値)について

<https://www.env.go.jp/press/105384.html>

国土交通省(2018):2016年度(平成28年度)環境 運輸部門における二酸化炭素排出量

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

気象庁(2019):世界の年平均気温

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_wld.html

やまがた県民手帳 資料編(2019):主な山形県全国ベスト3 I 統計資料編p.11

地球温暖化とゴミ問題

米沢中央高等学校夏休み課題

氏 名

本校生徒：学年・組・番号

年 組 番

家庭における一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量(自家用車も含む)の努力目標
裏面の⑭の値が次の値以下になるよう挑戦してください。

(調査開始の時、目標レベルの「目標」欄にマークし、終了時に実際のレベルの「結果」欄にマークしてください。)

目標	⑭の値	結果
☐ レベルA(1990年比 マイナス6%以下) ・一人当たり一ヶ月 113kg	kg	☐
☐ レベルB(全国平均とレベルAの中間値以下) ・一人当たり一ヶ月 140kg	kg	☐
☐ レベルC(全国平均以下) ・一人当たり一ヶ月 170kg	kg	☐
☐ レベルD(レベルCを超える)	kg	☐

家族人数

期 間

↓
人

開始 月 日

終了 月 日

期 間 (日間)

家族人数は必ず
記入すること。

保護者向けプリント通りの 31 日間になるようにしてください。

この暑い夏を乗り切るために、電力、水道等の適切な使用に努め、つけっぱなし、出しっぱなしがないように気をつけましょう。また、空欄の記載は正確かつ、もれのないようにお願いします。

①～⑥まで使用量(小数点第1位まで)を記入

下記の計算式で排出量を求めてください。

① 電力

(kWh)

② 水道

(a) (m³)

(b) 下水道が入っている場合 (m³)

③ LPG・都市ガス

LPG (a) 都市ガス (b) (m³)

重さのとき (kg)

④ 灯油

(リットル)

次のどちらかに○をつけてください。 使用していないものは0と記入すること。

- ・ 自営業(商店、事業所、農業などを含む)での使用分と家庭生活使用分が一緒になっている。
- ・ 家庭生活使用分のみである。

⑤ ガソリン (リットル)

⑥ 軽油 (リットル)

家族全員のガソリン車、ディーゼル車が対象となります。期間内の購入伝票(リットル)を合計してください。

次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 通勤や家庭生活のために使用している。
- ・ 仕事のために使用することもある。

項目ごとのCO₂排出係数 CO₂排出量

①電 力 () kWh	× 0.44 =	kg
②水 道 () m³	× 0.19 =	kg
下水道が入っている場合 () m³	× 0.59 =	kg
③LPG(ガソリン) (a) () m³	× 6.6 =	kg
都市ガス (b) () m³	× 2.2 =	kg
重さのとき () kg	× 3.0 =	kg
④灯 油 () リットル	× 2.5 =	kg
⑤ガソリン () リットル	× 2.4 =	kg
⑥軽 油 () リットル	× 2.6 =	kg

※電力、水道、LPG、灯油の各消費量は月毎の検針伝票などから一ヶ月分を概算してください。もし、外壁などの設置メーターから読み取るときは(最後 ー 最初)で算出してください。ガソリン、軽油はガソリンスタンドでの購入伝票を保存しておいて一ヶ月分を算出してください。とくに電力は必ず記入して下さい。

裏面につづく ➡

⑦～⑫までの各種包装容器（⑫のトレーにはインスタントラーメン類の容器も含む）のおおよそで結構ですから各品目毎に毎日の消費数を書き込んでください。

	1日め	2日め	3日め	4日め	5日め	6日め	7日め	8日め	9日め	10日め	11日め	12日め	13日め	14日め	15日め	16日め
日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
⑦アルミ缶 (本)																
⑧牛乳パック (本)																
⑨ガラス瓶 (本)																
⑩ペットボトル (本)																
⑪スチール缶 (本)																
⑫食品トレー (枚)																

	17日め	18日め	19日め	20日め	21日め	22日め	23日め	24日め	25日め	26日め	27日め	28日め	29日め	30日め	31日め	合計
日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	マーク欄に記入、マークすること
⑦アルミ缶 (本)																
⑧牛乳パック (本)																
⑨ガラス瓶 (本)																
⑩ペットボトル (本)																
⑪スチール缶 (本)																
⑫食品トレー (枚)																

⑦アルミ缶 (本)	⑧牛乳パック (本)	⑨ガラス瓶 (本)	⑩ペットボトル (本)	⑪スチール缶 (本)	⑫食品トレー (枚)

おおよそで結構です。これらの数にはスーパーマーケット等でのリサイクル回収箱に入れたものも含まれます。

※各品目とも二酸化炭素排出だけでなく、他の温暖化ガスや有害物質の排出および資源消費や深刻なゴミ問題を抱えています。各種容器の合計消費量をもとめてください。

CO ₂ 排出係数	CO ₂ 排出量	CO ₂ 排出係数	CO ₂ 排出量
⑦アルミ缶 合計数 × 0.17 =	kg	⑩ペットボトル 合計数 × 0.08 =	kg
⑧牛乳パック 合計数 × 0.16 =	kg	⑪スチール缶 合計数 × 0.04 =	kg
⑨ガラス瓶 合計数 × 0.11 =	kg	⑫食品トレー 合計数 × 0.01 =	kg

⑬家庭における一ヶ月の二酸化炭素排出量合計を求めてください。

$$① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪ + ⑫ = \text{ } \text{ kg}$$

家族一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量(上記⑬の合計値を家族人数で割る)を求めてください。

$$⑭一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量 = ⑬ \div \text{家族人数} = \text{ } \text{ kg}$$

各データの出所は環境省、資源エネルギー庁、国立環境研究所、長野村総合研究所、(財)日本環境衛生センター

*** 感想や気付いたことを書いてください。***

個人情報保護により、ご記入いただいた氏名、記載された個人情報は、課題の集計以外の目的には使用致しません。

ご協力ありがとうございました。このシートは提出用なのでデータを残したい方は各自コピーをとってください。

米沢中央高等学校 理科

〒992-0045 山形県米沢市中央7丁目5-70-4
Tel0238-22-4223 Fax0238-22-4224

初版 平成16年7月16日

環境学習「地球温暖化とゴミ問題 2018」
生徒および保護者のコメント
1) ~236)

1) 二酸化炭素の家庭総量が653kgとなり、相当な量を感じる。普段は気体のイメージなので、量を想像できない部分をkgに変換することはとても意味のある調査だと感じました。資源を大切にしなければいけないと改めて思いました。

2) 私の家族は人数が多いですが、一人当たりの二酸化炭素排出量は137.9kgである。家族の人数が多いほど一人一人の意識しだいで削減量も増えるだろう。もし、来年度も調査する機会があれば、今年よりも排出量を減らすことを目標に掲げ、積極的に取り組みたい。

3) 今回このようなデータを初めてとってみて、今まで私の家庭がどれだけの電力や水などの資源を使用していたのか知ることができて、今まで水を出しっぱなしにしたり、電気をつけっぱなしにしたりしていたことが多々あったので、これからはこのようなことを撲滅して、この活動が有意義なものだったといえるように心がけていきたいです。今年はレベルCでしたが、来年はレベルBにすることができるようは無駄を減らしていきたいです。

4) 数値化することで目に見えて理解することができ、どう削減していくかを考えることができました。環境と共存していくのはとても重要なことだと思いました。今回の調査結果をうけて、普段の生活で生かしていければいいなと思いました。

5) 我が家の一人当たりの排出量をそのまま当てはめると、米沢市の人口を約8.5万人として、8,712,500kg、それを1年間で考えると、104,550,000kg。米沢市だけでもこれだけのCO₂を排出している。全国で考えたら膨大な数値だろう。このデータを調べたことによって改めてCO₂排出量が多いと思った。だから私たち一人一人がCO₂の排出量削減を心がけて生活することが大切だと思った。

6) 一ヶ月間のペットボトル消費量の多さにおどろきました。また、一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量が157kgとなり、とても多く全体でも786kgと初めて数字で見て本当におどろきました。レベルBを目標にしていたのですが、レベルCとなり届かなかったのが、残念でした。数字として見ることができたので、これからの生活に生かしていきたいです。

7) オール電化の家に住んでいますが、エアコンによる電力消費が多かったと思います。また、この夏は遠出が多く、ガソリン消費も多くなってしまいました。これからはいろいろ大変なことも多いのですが、エネルギーの消費に気をつけ、地球市民としての自覚をもって生活していきたいと思います。

8) 私の家でのCO₂排出量が多かったのは、電力とガソリンでした。ガソリンは車での移動に使用しているので、削減は難しいです。故に、節電をメインに少しでも排出量を減らせればと考えています。

9) 普段水や電気を意識しないで使ってしまっていますが、目に見える形で表すことでいかに資源を消費しているのか感じることができました。今年の夏はダムの貯水率が20%を切るほどの渇水と酷暑に見舞われましたが、クーラーの使用開始も早かったように感じます。来年以降はクーラーの使用について考えていきたいと思います。この一ヶ月間は水や電気の使用に気をつけて生活したので、今後も継続して取り組み、地球環境を大切にしていきたいです。

10) 今年の夏はとても暑く、エアコンを今までより頻繁につけていたので、電力消費量が多かった。それにしても一人当たりの二酸化炭素排出量が多いようなので、これからは小まめに電気を消したり、水の出っぱなしに気をつけていきたいと思います。

11) 結果が目標を下回ったのでよかった。これからも地球温暖化を意識しながら生活していきたい。今年の夏は水不足になり資源の大切さがわかった。

12) 予想以上に二酸化炭素を排出していたので、とてもおどろいた。一ヶ月間でこんなにゴミが出ていることを今回知ることができたので、これからはなるべくゴミを出さないようにしてリサイクルも考えたい。今回の課題を行ってみて、地球温暖化を防止するために取り組むべきことをもっと知りたいと思った。

13) レベルDになるとは思わなかったので、とてもおどろきました。私の家では思ったよりも二酸化炭素を排出していたので、この結果をもとに家族みんなで節約していきたいと思いました。私はペットボトル飲料を購入することが多いのですが、水筒持参を考えたいと思います。それから電気のつけっ放しを無くすなど、これ以上地球温暖化を加速させないようにしたいです。

14) 二酸化炭素をたくさん出していることがわかり、とてもびっくりしました。数量的にはペットボトルの消費量がとても多いことがわかりました。少しでも二酸化炭素排出を減らし、地球温暖化防止に貢献したいと思いました。

15) 二酸化炭素排出量が全国平均より約48kgも多いという結果におどろきました。このまま何もしないわけにはいけないので、特に多いと思ったガソリンの量を減らすために車での学校への送り迎えを減らしたり、学校へ持参する飲み物をペットボトルではなく水筒にしたりして、自分にできる範囲のことで二酸化炭素排出を削減していきたいと思います。そして、普段から節電節水に心がけて生活していきたいと思います。

16) 初めて二酸化炭素排出量を調べてみて、こんなにも多いことを初めて知りました。でも、1990年比マイナス6%を達成できたことは良かったです。これからも地球環境に貢献できるように、電力や水道はできる限り節約し、ゴミの排出量にも向き合っていきたいと思いました。

17) 一ヶ月間の包装容器6品目の個数を数えたのは初めてでしたが、このような計算でCO₂排出量を知ることができるのはとても興味深かったです。去年のCO₂排出量の全校平均が152.1kgだったそうですが、これを下回ることができて良かったです。

18) 私たちが日常生活から排出している二酸化炭素を初めて調べましたが、想像以上にたくさん排出していることに気づきおどろきました。二酸化炭素排出が多いと地球温暖化が進んでいきます。普段使っているエネルギーを無駄にせず節約しながら、資源として大切に扱いたいと思いました。

19) 一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量が、レベルAとなりよかったと思いました。つけっ放し出しっ放しもなく、ゴミもあまり出ず、節約できていたのではないかと思います。

20) 我が家では、毎日R-1を飲んでいますが、だからペットボトルが多くなったと思いますが、この夏は暑かったため多くのペットボトル飲料に手が伸びてしまいました。これからはR-1以外でペットボトルを減らし、「暑くてペットボトル飲料を飲む→CO₂が排出され暑くなる→また飲む」という連鎖を断ち切りたいと思います。この調査をやってみて気づきました。

21) 多いのか少ないのかほかの家と比べないとわからないが、CO₂が696kgも出ていたとは思わなかったので、おどろいた。一ヶ月でそんなに出るとは思わなかった。来年は少しでも減らせるように努力していきたい。この宿題で自分の家の状況が見えたので、無駄を減らして少しでも地球温暖化抑止に貢献できればいいと思う。来年は1人10kg減を目指して取り組む。かなり大変だが達成を目指して頑張りたい。

22) 目標は一人一ヶ月あたり140kgだったのですが、その倍くらいの排出量になってしまいました。理由は今夏の異常な暑さだと思います。電力、ペットボトル飲料が多かったです。

23)暑い時期でもあり、ペットボトルの消費がどうしても多くなってしまったが、減らすように努力してみた。電力、ガスなども節約に努めたがそれでも目標に届かず残念でした。しかし、何でも節約することは地球にやさしく、家計にもやさしいということにつながるので、これをきっかけに今後も継続していきたいと思う。

24)一人一ヶ月あたり242kgも排出していることにとってもおどろきました。これでは地球温暖化を防ぐことは難しいと思いました。今回のこの取り組みを通して、自分たちがペットボトル飲料を買うことが多いと感じたので、水筒を使って少しでも減らしていく努力をしていきたいです。

25)このように自分たちが排出する二酸化炭素の量を知ることができてよかったです。自分の家の二酸化炭素排出量が多いと思いました。少しずつ抑えていきたいと思いました。

26)多くのCO₂が知らぬ間に出ていると知りおどろきました。地球環境のためにも気をつけていきたいと思いました。私の家はガソリン使用量がとても多いことを知ることができ、改善するべきところを見つけられました。これからの生活のしかたを見直して、地球にやさしくなれるように頑張っていきたいです。

27)実際に調べてみて、目標より多くの二酸化炭素を排出していることが分かった。これからは節電・節約しなるべく二酸化炭素の排出を抑える生活をしていきたいと思いました。

28)今回は初めての二酸化炭素排出量についての学習でした。一ヶ月でこんなに多くのゴミが出て、二酸化炭素排出量がとても多いことが、kg単位で計算することでわかりおどろきました。こんなに二酸化炭素排出量が多いと、地球温暖化に大きな影響があると思いました。

29)今回初めて環境学習をした結果は、目標の全国平均よりは低かったのですが、昨年の学校平均を上回ったので気をつけていきたい。これから改善していく中で特にペットボトルの節約に気をつけたい。この学習をした後は生活習慣が少し改善されたと思うのでこの学習をしてよかったと思いました。これからこの学習の結果を忘れずに生活していきたいです。

30)オール電化ということもあったのですが、電気の使用量が他とケタ違いに多いことにびっくりしました。全国平均以下ではあるが、まだまだ節電などで排出量を減らせと思うので、これからはもっと節電に気をつけて、目標にしていたレベルBを達成できるように頑張っていきたいです。一ヶ月という長期間で夏休みを過ごしながら出来たことをとても嬉しく思います。そして、夏休み中にどれだけ使っていたのか確認することが出来ました。

31) 1世帯だけで一ヶ月 749kgもの二酸化炭素を排出していることにおどろいた。地球温暖化を防ごうといいつつも、自分たちがどれだけ出しているのかわからずにいたが、今回の調査を通して、地球温暖化が進行する理由が自分にもあることを知ることができた。これからは少しずつ減らしていきたいと思った。

32) この課題を一ヶ月行ってきた、一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量が自分の体重の2倍以上もあることにおどろいた。地球温暖化の原因が二酸化炭素であることを実感した。ペットボトルの節約などは自分にもできるので、できることから積極的に行っていきたい。

33) この夏休み期間中は、暑い日が多く、電力使用量が多かったように思います。それからペットボトルの本数が思った以上に多かったです。目標はレベルCでしたが、結果は191kgと大幅に超えてしまったので、これからはもう少し意識して、細かいところに注意していけば、もっと減らせるのではないかと思います。eco生活が求められる時代ですので、注意していきたいです。

34) 高校に入ってからペットボトルを飲む機会が増えたことで、一年前に比べて、ペットボトルの本数が多くなったと思った。また、今年は僕の住んでいる長井市が水不足に陥り大変だったので、一人一人が節水することが大切となってくる。

35) 全国平均を大きく超えてしまいました。過去3年間で一番多かったです。暑い日が続く、それぞれの部屋で冷房をつけたり、普段あまり飲まないペットボトル飲料を多く飲んでいたので、これらが原因かと思いました。この気温の変化もCO₂のせいかと思うと少し焦ってしまいます。これ以上暑くなって、もっと使用量が増えちゃうからです。この悪循環から逃れるために、減らす努力をしようと思いました。

36) この夏は雨が少なく、ダムの貯水率が低いまま過ごしてきたので、特に節水に力を入れました。これからも続けていきたいと思います。

37) 私の家は全国平均以下だということがわかりました。すごくショックでした。これからはもっと節約していきたいと思います。夜の電力消費がけっこう多かったので、早めに寝るようにしたいです。

38) 目標には全く届かず残念でした。必要最小限の使用量を心がけ無駄をなくしていくことで、地球にも財布にもやさしい生活を目指していきたいと思います。3年間このような機会をいただき、改めて環境問題に向き合うことができました。少々めんどろですが、大切なことです。この課題はこれからも続けていきたいと思っています。

39) 私たちの家は5人家族でけっこう多いほうなので、たくさん物を消費していると思っていたが、一人当たり一ヶ月間のCO₂量を周りの友達と比べてみて、我が家は節約できた生活ができていることがわかり、嬉しくなりました。次はもっと減らせるように頑張ります。

40) 毎年、CO₂調査を行っていて、だんだんCO₂排出量についての関心が高まってきました。現在、CO₂の増加が世界的に問題となっていて、地球の未来が不安なので、できることからCO₂削減に貢献していきたいです。また、自分の家だけでも相当な量のゴミが排出されていることにおどろきました。

41) 全国平均を大幅に超えてしまったので、もっと意識して減らしていかなければならないと思う。飲み物は水筒に入れるようにして、ペットボトルやアルミ缶の数を減らしていきたい。

42) 今回は家族の家庭環境の変化や家族の帰省、親戚の訪問、異常な暑さ等のため、目標には程遠い結果となってしまいました。しかし、CO₂排出量を意識して生活することはとても大切なことだと思います。

43) 何気なく一ヶ月過ごしているだけでも膨大な量の二酸化炭素を排出していることがわかった。自分が想像したよりずっと多いということにおどろいたが、一人一人が意識して生活するだけでも排出量はかなり抑えられるのではないかと思った。

44) 毎日記入していく中で、自分たちがどのくらいペットボトルや牛乳パックなどを使っているか分かった。去年はレベルDだったが、今年はレベルBとなり、改善することができた。来年はレベルAになるように無駄遣いせず、節電・節水を心がけて生活していきたいと思う。また、自分だけではなく家族皆で頑張りたいと思う。

45) 我が家はもともとゴミの量が多いほうなのですが、集計してみると改めてゴミの量の多さに気づかされました。中でもペットボトルや食品トレーの量が多かったので、その量を減らす工夫をしていきたい。

46) 去年と同様に、ゴミを捨てる人が印をつけてみんなで数える方式で行いました。結果を見ると、二酸化炭素排出量で一番多くを占めていたのはガソリンでした。でも車の使用は実際どうしようもない部分であるので、電気自動車などガソリンを使わない自動車を増やしていくことが大事だと思います。それからペットボトルの月100本超えは冷静に考えると、すごい量だと思うので控えていきたいです。来年も頑張ります。

47) 普通に生活してゴミを出すだけで、たくさんの二酸化炭素を排出していることがわかりました。これからはこのことを頭に入れて、気をつけていきたいと思いました。

48) 私はエアコンを使用することが多いので、省エネモードにしたり、冷えたら消したりしてエコを心がけたいと思いました。また、電気のつけっ放し、水の出しっ放しをしてしまうことがあるので注意したいです。普段はあまり気にかけていませんが、調べてみて一人当たり一ヶ月130kg以上あるのにおどろきました。数字にしてみるとかなり多いと思ったので減らすように努力していきます。

49) アルミ缶が多かったが、そのほとんどは缶ビールでした。父の飲酒量を減らすことで体調も良くなると思うし、CO₂排出量も減らせるので、体のことや環境に気を遣ってもらいたいと思いました。ペットボトルも多かったのですが水筒を持参することで、ペットボトルの合計数を減らすことができたと思います。その他の点でももっと節約できると思うので、率先して取り組みたいです。

50) 一ヶ月で一人当たりだいたい100kgもの二酸化炭素を出しているとは知らなかった。食品トレーの枚数やペットボトルの本数とかを減らすのはけっこう厳しいけれど、節電は心がければできるので、無駄な電気を使わないようにしたいです。

51) 思っていたよりも夏休み中一ヶ月間の二酸化炭素排出量を少なく抑えることができたようでよかったと思います。レベルBを目標にしましたが最終的にはレベルAになったのはしっかり意識して取り組むことができたからだと思います。この課題が終わっても二酸化炭素排出量を減らすように意識していきたいです。

52) ペットボトルは使っているという意識があまりなかったが、合計100本と予想以上に多くおどろいた。ペットボトルのキャップはリサイクル活動で多く回収されているので、このような活動に積極的に参加していきたい。

53) 一ヶ月間ゴミを数えたり、二酸化炭素排出量を出したりすることは他にないので良い経験になった。結果としては二酸化炭素排出量が意外と少なくおどろいた(レベルA)。ゴミの中ではアルミ缶が一番多かった。今までゴミを意識して生活することはなかったなので、これからは少しでも減らせるように意識して生活したい。

54) 今回二酸化炭素を調べてみて、去年はレベルDだったのに、今年はレベルAになっていてだいぶ減ったのでうれしくなりました。実際に数字で表すとわかりやすく排出量が目に見えてわかるので、この取り組みは良いと思います。

55) ガソリンの二酸化炭素排出量が一番多い。次に電力、LPG、水道の排出量が続く。各種包装容器は大した排出量ではないが、ゴミの量としては積み重なるとかなりの量になることが分かった。一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量が160kgを超えているので、これから少しずつ減らしていきたい。

56) 限りある資源を大切に使わなければならないと思いました。出しっ放しつけっ放しをできるだけ少なくしていきたいと思います。これからの生活をできるだけ省エネで頑張ります。

57) 現在、世界で対策が迫られているプラスチックゴミによる環境汚染の問題があるが、これは二酸化炭素削減に向けた活動とともに世界規模で取り組まなければならない問題である。日本は豊かな国として責任をもって世界を牽引すべきであり、そのために国民一人一人が高い意識をもつことで、環境保全を先導していく美しい国となれるだろう。先のサッカーW杯で、観戦後に競技場のゴミを拾う様子が日本人のモラルの高さを示すものとして世界的に話題となったが、プラスチック製品の削減については経済的損失を恐れ消極的な懸念もある。本当に失ってはいけないもの、取り戻せないものを考えて、それを行動に示さなければならないと思った。

58) 思ったよりもたくさんのゴミが出ていることにびっくりしました。また、これだけの二酸化炭素を排出していることがわかったので、これからはゴミを減らしていきたいと思いました。私の家ではアルミ缶や食品トレーがたくさん出たのでリサイクルしてゴミにならないようにしていきたいです。また、節電や節水にも心がけて二酸化炭素排出量を減らしていきたいです。

59) ペットボトルがとても多かった。夏休みは妹の卓球の試合や弟のフェンシングの試合が多かったのが原因だと思う。できるだけ少なくしていきたいと思う。一人当たりの二酸化炭素排出量が意外に多くておどろいた。また、今年は例年よりもさらに暑く、エアコンやペットボトルの消費が多かった。これからはできるだけ二酸化炭素を減らせるようにしていきたいです。

60) 普段の家庭生活からどれだけのゴミが出されるのか考えたこともなかったので、いい機会だったと思います。私の家はペットボトルがずば抜けて多いことがわかりました。その原因として考えられるのは、部活動で飲むスポーツドリンクだと考えられます。家から水筒を持参してもそれ以上に飲むのでどうしても多くなってしまいます。これからは二酸化炭素を減らすためにまず、ゴミを減らしていきたいと思います。

61) ゴミの量は昨年よりも減っていることに気づいた。燃費の悪い父の車で遠出をしたこともあり、ガソリンの消費量が多かった。それから父がよくお酒を飲むので、アルミ缶が多く出た。

62) 目標と同じくらいの二酸化炭素排出量だった。家族と協力してできたので良かった。特にペットボトルはよく使うので繰り返し使ったりして前年より少なくてできた。電力だけでもけっこう使っていることがわかった。来年は今年より減らしていけるように頑張りたい。これからも心がけていきたい。

63) 目標はレベルBでしたが、結果はレベルDでした。夏休みはほとんど家にいたので、エアコンのつけっ放しなどの無駄遣いをしてしまいました。意外だったのは牛乳パックが0本だったことです。全国平均を超えたことが残念でした。普段から気をつけて、つけっ放しや出しっ放しをしないようにしたいと思いました。

64) 今年の夏休みは、車で長距離移動をした(米沢～名古屋往復)ため、ガソリン使用量が多くなってしまいました。猛暑によるエアコン使用の増加も影響したと思います。普段の生活を見直す機会となりました。

65) 昨年の結果は確かレベルCかDだったので、今回はBに止まったので良くなっていると思いました。食品トレイは毎日の食材の包装容器なので、ほぼ毎日出ているが、ペットボトルは水筒を使うことによって少なくすることができた。

66) 振り返ってみるとペットボトルの数がとても多かった。私は水筒を持参してペットボトルを買わないようにしたが、遠征先ではどうしても買うことになる。また、家族には毎日1本自動販売機から買っていたとの報告もあり、水筒を使えばその分お金もかからず、環境にもいいので水筒(マイボトル)を使うように注意を促していきたいと思った。我が家はエアコンを使わないので、そこはいい節電になったと思います。

67) 家を出しているゴミの量は全く意識していなかった。しかし、今回一ヶ月間数を調べて、数値化すると具体的になり、自分がどれだけのゴミを出しているのかわかった。それだけでなく、近年問題視されている地球温暖化の原因でもある二酸化炭素の排出量もわかるので、とてもいい調査だと思った。この調査が終わっても意識していきたい。

68) 意外とペットボトルの消費量が多いことに気がついた。結果としての一人当たりの二酸化炭素排出量は少なくてレベルAだったので良かった。今、ダムの水位低下が問題になっているが、私も水の出しっ放しをしないように気をつけたいと思う。また、人がいない部屋のクーラーのつけっ放しや照明のつけっ放しなどもあったので、こまめに消せるようにしたい。今回は前回よりも家にいることが少なかったから、大幅に二酸化炭素を削減できたのだと思います。これからも二酸化炭素排出量に気をつけて生活していきたい。

69) 自分では全然使っていないと思っていた電気がとても高い数値だったのでびっくりしました。地球温暖化が進行している現在、この生活がどれだけ影響を与えているのか、この調査をしてみてわかりました。自分ができることは限られているわけですが、使わない部屋の電気を消すことなどすぐにできることはたくさんあると思うので、これから毎日の生活を見直しながら改善していきたいと思います。来年はしっかり実践して取り組みたいと思います。

70) 今年はとても暑い日が続いたこともあって、エアコンを一日中つけっ放しにする日が多かった。これは健康上やむを得ないところもありますが、例年以上に電力を使っていることがわかりました。地球温暖化に比例して電力の消費が多くなっていきます。結果としての一人当たりの二酸化炭素排出量は予想より少なかったものでよかったです。しかし、家族が出張などでいない日もあった上での結果でした。

71) 去年はレベルAだったが、エアコンを使う機会が多く、電力消費が大きくなってしまいレベルBに落ちてしまったので少し残念でした。ペットボトルも今年増えてしまいました。

72) 我が家の二酸化炭素排出量が全国平均よりかなり少なかったのが良かった。毎日ペットボトルを買って水分補給するのではなく、水筒を使用することによって、ペットボトルの本数を抑えられているのではないかとと思う。この調子で二酸化炭素排出量を抑えられるように少しでもゴミを減らせるように工夫していきたい。

73) 自分では気がつかないうちに、二酸化炭素を大量に出していることにとてもびっくりしました。毎日コツコツ調査していく中でいやになることもあったが、乗り越えてやっと終わりました。これはとてもいい課題だと思いました。来年もコツコツと調査を頑張り、充実した日々を過ごしていきたいと思いました。

74) 一ヶ月の二酸化炭素排出量合計が思ったよりも多いと思いました。地球温暖化防止のためにも二酸化炭素排出量を減らさなければいけないと思いました。節電や節水、これからもできることは続けていきたいと思っています。

75) 一人当たりには多過ぎるような気がしました。普段の日常ではあまり気を遣っていないが、無駄なことはしないようにしたいと思いました。車が一台減ったのでガソリン使用量は減ったと思います。

76) 「このくらいのレベルなら簡単にクリアできるだろう」という思いから、目標をレベルBとして挑戦しましたが、遠く及ばないレベルCの結果となってしまいました。普段会社等では地球温暖化対策に積極的に取り組んでいたのですが、この余りの散々な結果に家庭内においても、もっと意識を高めなければ、そして個人個人が本気で取り組まなければ地球温暖化を阻止することはできないと強く思いました。この結果を反省し家族で改めて話し合いを持ち、レベルAを目指し今日から地球温暖化対策に取り組みます。

77) アルミ缶とペットボトルが毎日ありました。これからもゴミを少しでも減らすように努力したいです。ダムの水が不足するという異例の事態が起きているので、なるべく節水して無駄遣いしないように心がけたいと思います。地球温暖化防止のためにも小さなことから少しずつやっていきたいです。

78) 数値を見て二酸化炭素排出量が多いか少ないかはよくわかりませんが、自分としては多いように感じました。減らすように工夫して生活していかなければならないと思いました。節電や節水は意識すれば簡単にできると思うので、先ずはそこから始めていきたいです。家族みんなの協力も大切にしていきたいです。

79) 夜遅くまで起きていたり、明るいのに照明をつけていた日があったために電力消費が多くなってしまった。雨の日には車で送られて登校したこともあり、これも二酸化炭素を多くしてしまった。カップやウィンドブレーカーなどを着て登校するようにします。この結果から規則正しい生活を送っていききたいと思いました。また、ペットボトルを減らすために水筒を持っていくようにしたいです。

80) 猛暑が続いたということもあったが、エアコンの使用が増えていき今年の電力を超えてしまったことが課題であると思った。また、米沢は水不足でもあるため、この夏は水の使用にも気を遣わないといけな。これからの日本や世界を担っていく僕たちの世代が責任をもって生活していくべきなのだとということ、その難しさを知りました。

81) 一ヶ月でこんなに二酸化炭素を排出しているとは思っていなかったの、びっくりしました。我が家はレベルCを大幅に超えているので、改善していかなければなりません。家族一人一人がもっと意識を高くもって、節電・節水などに取り組みたいと思います。そして来年はもっと二酸化炭素排出量を減らして、レベルAになりたいです。

82) 私の家はペットボトルの個数が一番多かった。部活動のない日は一日中家にこもっていて、ペットボトル飲料をよく飲んでた。家がオール電化なので、電気の使用量はとても多いが、ガスと灯油は使用していない。これから二酸化炭素の排出にこだわって生活していきたい。

83) 今回の体験を通して、一家族からたくさんの二酸化炭素が排出されていることがわかった。今は地球温暖化が進んでいて、各地で異常気象が起きている。このことを頭に入れて、今自分に何ができるのかしっかり考えて生活していきたい。

84) 全国平均レベル以下でした。毎日の⑦～⑩について見ると、アルミ缶、ペットボトル、食品トレーの数が多かったのですが、その中でもペットボトルが最も多く、水分補給のために利用していたのですが、これからは水筒に替えて、ペットボトルを出さないようにしていきたい。そして節電・節水に心がけて生活していきたいです。家庭生活以外でも学校や外出先でも地球温暖化を意識して身の回りのものに気をつけて利用していきたいです。

85) 全国平均とレベルAの中間値以下の結果だった。目標と同じくらいでよかった。地球温暖化の原因とされている二酸化炭素を少しでも減らしていきたい。どうしてもアルミ缶とペットボトルが多くなってしまいが、ただ捨てるのではなくリサイクルに出すことは大事なことだ。自動車はとても便利で使用するが、これが最も多くの二酸化炭素を出すので自転車の利用、あるいは先の話ではあるが、電気自動車の普及が待たれる。

86) 自分の家は送り迎えもあるので、ガソリン消費が多かったです。自分ができることから取り組んで、少しでも減らしていきたいです。

87) 基本的に我が家は環境のことを考えて生活している。ゴミもあまり出さなくて済むように気をつけている。これを毎日続けていかなければならない。

88) 今年はとても暑く、ペットボトルがたくさん出てしまいました。これからは電気や水道等、食品トレーやペットボトルを適切に使用し、意識して買い物をしていきたいです。

89) 進学先では一人暮らしということも考えられるので、環境にいい暮らしを心がけたいです。特に節電や節水は意識次第で大幅に変わってくると思うので、小さなことの積み重ねで節約していきたいです。

90) 猛暑対策が二酸化炭素の排出をさらに多くしているように思う。地球温暖化が進み深刻な気温上昇が問題になっているので、自分たちにできることを少しでも考えていきたい。

91) 一人当たりの二酸化炭素排出量がこんなに多かったのがびっくりした。地球温暖化が進んでいるので、少しでも二酸化炭素排出量を少なくできるように節電や節水を心がけていきたいと思いました。今まで二酸化炭素の排出量を気にしていなかったのが、これからは二酸化炭素や有害物質の削減を目指していきたいです。

92) 家庭での二酸化炭素排出量がこんなに多いとは思っていなかったのがびっくりしました。これからは少しでも二酸化炭素を減らせるように頑張りたいと思いました。

93) 自分たちが普段意識したことがなかったので、実際に調べてみてたくさんを知ることができて良かったです。次からはこれらのことを意識して生活していきたいです。

94) 思ったよりも二酸化炭素排出量が多過ぎました。今後の日々の生活で意識していきたいと思います。

95) 全国平均をはるかに超える結果でした。今年の夏は特に暑く、飲み物の量がかなり多かったし、エアコンも多く使いました。少しずつでもみんなが考えて生活していくべきだと思います。

96) 食品トレーやアルミ缶、ペットボトルはたくさん出たが、牛乳パックやガラス瓶、スチール缶はあまりなかった。僕に今できることは水道や電気の出しっ放し、つけっ放しがないように気をつけることだ。

97) 電力、水道そしてガソリンなどがとても大きい数字を出していて、びっくりしました。一ヶ月で706kgも出しており、1日では約23kgも出していることになります。この23kgという数字と世界中の家庭数をかけたら1日でもすごい量のCO₂が出ていることになりびっくりしてしまいます。

98) 普通に生活しているけれど、一ヶ月間でこんなに多くの二酸化炭素を排出していることがわかりました。この調査をしてみて、これからの生活を大切にしていきたいと思いました。

99) 普段こういうことは知らないでいたので、知ってよかったと思います。これからはゴミの分別に気をつけ、節約もしていきたいと思いました。そして、お金がかからないようにいろいろなものを節約していきたいです。

100) アルミ缶がかなり多くてびっくりしました。我が家ではガス、灯油、軽油は使っていません。ペットボトルは一日一本以上必ず出ることがわかりました。食品トレーもほぼ一日1つ出ていました。スチール缶は0でした。やはり電力と水道が多く使われていたので節電・節水をしていきたいと思いました。

101) 今年の夏は特に暑かったので、ペットボトルの本数が多かったです。また、朝からエアコンを使用した日もあったので、電力消費が去年より増えたと思います。これからも暑い日が続くと思うので、さらに増えると思います。

102) 一ヶ月だけでこんなに二酸化炭素が出されていることがわかり、自分たちで対策をしなければいけないと思います。なるべくゴミやガスなどを抑えて、生活していこうと思います。

103) 一人一人の心がけが地球温暖化ストップにつながると 생각합니다。我が家は節約している方だと思うので、これからも続けたいと思います。

104) 一ヶ月間の家庭から排出される二酸化炭素を調べてみて、ペットボトルの本数が多かったと思いました。少しでも排出量を減らせるように工夫していきたいと思いました。

105)今年の夏は本当に厳しい夏だったので、昨年に比べてクーラーや扇風機の使用頻度が増えました。その分電気をこまめに消すことを心がけるようにして、今年も目標達成できましたが、この一ヶ月間アルミ缶が一本も出なかったのは意外でした。普段の生活でも節約することや、電力の無駄遣いをしないようにしているので、今後も変わらずに生活していきたいと思います。また、現在深刻な水不足となっているので、節水の努力も続けていきたいと思います。

106)レベルCを目標に調査を一ヶ月行ってきましたが、例年にない連日の猛暑によりクーラーの使用増と水分補給のペットボトル購入が増となった。電力料金も前月より5,000円増となった。各項目の増により、目標達成とはならなかった。

107)一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量が予想していたより多かった。現在地球は温暖化や資源不足など深刻な問題を抱えています。このような問題が少しでも改善されるように、電気などエネルギーの節約や家庭から出るゴミの削減に心がけていきたいと思います。

108)日々使用したトレイや缶の数を記入していくことでゴミの量がわかるので、リサイクルを意識しながら分別していました。これからも気をつけていきます。

109)クーラー使用により電力消費が増えたこと、長距離移動がありガソリンを多く使用したこと、数値に表すと痛感します。

110)今回は節電など意識してできたと思いました。また、水不足になっているので、節水の意識をもって生活しなければならないと思いました。

111)今年の夏は暑かったせいか電力、飲み物などのペットボトルの量がとても多く感じます。削減しなければいけないと思いながら、つついっオーバーしています。今後はできるだけ削減していきたいと思います。

112)今年の夏は本当に暑くて、休みの日は朝からエアコンを使用しました。熱中症予防のために、スポーツ飲料も多く消費しました。CO₂を排出せずに夏を乗り切る工夫をするのは難しいと思いました。

113)今年は真夏日が多く連続したため、アルミ缶やペットボトルでの飲料の摂取が不可欠となり、本数が多くなる傾向が見られた。しかし、考えてみると減らせるところはあると思った。毎日少しずつ減らせば一ヶ月間でけっこう削減できるということがわかった。環境について考えて生活していきたい。

114) 平均排出量をはるかに上回る数値であったことにおどろきました。「エコ活動」に本腰を入れて取り掛かろうと思いました。

115) 昨年より一人当たりの排出量が少し増えていておどろきました。6人家族の平均排出量はわかりませんが、環境が悪くならないような生活を心がけたいです。

116) 知らないうちにこんなに多く二酸化炭素を排出していたことにびっくりしました。今後は生活の中で、常に二酸化炭素の排出を意識していきたいと思いました。

117) 数字に表してみると、どのくらい使っているのかよくわかりました。CO₂をこんなに出しているということが初めてわかっておどろきました。kgが実際どのくらいなのか、実感がわからないのですが、CO₂について調べることができてよかったです。

118) ゴミが意外に多いと思いました。このように調べて数字に表すと、二酸化炭素が目に見えてくるのですねあと思いました。

119) 平均よりも多くの二酸化炭素を排出していたので、これからはゴミを少なくし、無駄遣いをしないようにして二酸化炭素を減らしていきたいです。地球温暖化がけっこう進んでいるので、今自分ができる温暖化防止対策をしっかりしていきたいです。

120) 電気や水道、ガソリンや灯油を多く使うことによって、二酸化炭素を多く排出してしまい、地球温暖化が進行することがわかりました。アルミ缶、牛乳パック、ガラス瓶、ペットボトル、スチール缶、食品トレイも二酸化炭素排出につながるということがわかりました。これからはなるべく無駄遣いせず、適度な量を考えながら生活していきたいと思います。

121) 家庭における一ヶ月の二酸化炭素排出量を調べることでよかったです。このデータを見て、二酸化炭素を減らすにはどうすればよいのかを考え、行動に移していきたいと思います。例えば節電、節水、近場への移動は車に乗らず歩いて行くなどを実行していきたいです。

122) 生活していく中で、このようなデータを取ったことはないのですが、こんなにゴミが出ているとは思いませんでした。これからの生活ではゴミを減らし、節電・節水などその他考えられるすべてで節約していくように努力していきたいと思います。

123)この調査をしてわかったことは、リサイクルの大切さです。ゴミがあまりにも多いので分別してリサイクルに出すことが資源の有効活用につながると思います。この考え方は地球環境を考えたとき、今後大切になってくると思います。

124)ペットボトルの消費が思ったより多かったのですが、今年の夏の暑さのため、水分を多くとったから仕方ないと思いました。来年はCO₂の排出を抑えるためにも、マイボトルの利用に努めたいと思います。

125)この夏はとても暑く、ペットボトルの消費が多かった。一ヶ月間だけで100本近くにもなったので、すごくおどろいた。二酸化炭素排出量が多いので、減らしていきたいと思いました。

126)全国平均と比べたら、二酸化炭素の排出はかなり少ないと思います。しかし、家の中で電気がつけっ放しになっていることがあったので、もう少し減らすことができたでしょう。これから気をつけて生活していきたい。

127)自分の家庭では一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量が全国平均をはるかに上回っていた。これまでまったく気にしていなかったので、この地球温暖化とゴミ問題の課題をきっかけに、ただ書いただけで終わらせず、二酸化炭素削減を重視して生活していきたいと思います。

128)ゴミを減らし、資源、エネルギーの無駄遣いを減らすことが大切だと思いました。これからも地球温暖化という環境問題を意識しながら生活を送っていききたいです。

129)家庭環境が変わり、水道、電力が特に大きく変わりました。暑い日が続く、エアコンを切ることがない状態だったので、請求金額を見ておどろきました。家族みんなで節電・節水を心がけるように話し合いました。

130)今年の夏はものすごい暑さで、飲み物は欠かせなかったため、ペットボトルがたくさん出てしまいましたが、暑さが収まれば、少しずつ減らしていきたいと思います。

131)夏休みということもありますが、家族みんなの消費量を数えてみると、特にペットボトルの本数が多く、とてもおどろきました。おもしろかったので今後も続けていきたいと思いました。

132)4人家族の中ではCO₂排出量が多いということを知りました。我が家はプロパンではなく、IHを使用しているので、電力は多い方ではないかと思いました。現在、二酸化炭素排出による地球温暖化問題や深刻なゴミ問題があると聞いているので、気をつけていきたいです。

133) 日頃あまり気にしていなかったが、このように記録してみると、思った以上に二酸化炭素排出量が多くて、おどろきました。地球温暖化にはこの排出量に関わってくるので、これからできるだけ節電、節水などをして少しでも排出を減らしていきたいと思いました。

134) 一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量がとても多いことに気づいたし、電力や水道の排出量も知ることができて良かったです。

135) 思った以上に数値が大きかった。通勤で使っているガソリンを減らすことは難しいので、電力やペットボトルを少しでも減らすように努力していきたいと思った。

136) 今までこのようなことはしたこともなかったし、考えたこともありませんでした。終わってみるとペットボトルが思ったよりかなり多くびっくりしました。ガソリンは多いと予想していたのですが、やはり多かったです。

137) ゴミの分別には気を遣っています。冷房を使用する日が多く、電力が増えました。一人一台の車社会なので、ガソリンによる排出量が多くなってしまいました。近くに出かけるときは歩くか、自転車を利用します。

138) 私のうちではペットボトルの本数がとても多いことがわかった。基準がよくわからないので、今回の一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量が多いのかどうかよくわからないが、まだまだ節約できるところはたくさんあるので、これからはよく考えて生活していきたいと思います。

139) 私の家は平均よりも二酸化炭素を出しているということがわかりました。あまり気にしていなかったのですが、このことを家族と話し合って改善していけたらいいと思います。これからの地球を守るために気をつけていきたいです。

140) 表にまとめることで、今まで気づかなかったペットボトルの本数などを知ることができたので、買い過ぎないように心がけたいと思いました。それからCO₂の排出係数がわかり、夏休み一ヶ月間の排出量を計算することができて、二酸化炭素削減について考えるきっかけになりました。

141) 一ヶ月という短期間でも、アルミ缶やペットボトルの本数が100を超えたことにびっくりしました。

142) 今まで調べたことがなかったので、この課題に取り組むことでびっくりすることがたくさんありました。特に包装容器の数ですが、ペットボトルが100を超えたのに対して、ガラス瓶、牛乳パックは0でした。

143)調べるのが初めてだったので難しかったのですが、計算をきちんとすることができて良かったです。また来年もしてみたいと思いました。一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量が多くてびっくりしました。

144)今回この課題をやってみて、たくさんことがわかりました。アルミ缶やペットボトルは100本以上も出ました。ガソリンも一ヶ月間ですごい量になりました。これからは二酸化炭素を減らしていきたいと思います。

145)オール電化にして、灯油がなくなった分、どのくらい違うのか気になります。包装容器では食品トレーが一番多くなりました

146)外出した日は暑さのために飲み物(ペットボトル)の本数が多くなった。今後は水筒を持参するようにしたい。それから調理も短い時間で簡単に出来る様、工夫して実行したい。最近の異常な暑さも地球温暖化が原因であることを頭におき、毎日気をつけて行動するように心がけたい。

147)暑い夏で電力使用量が多いことにおどろきました。また、ペットボトルも数が多かったです。今回の結果で減らせるものを認識しました。ガソリンは現実的に減らすのは難しいですが、家庭から出るゴミを減らしていきたいと思いました。

148)自営業のためガソリンや休憩用のペットボトルなどは仕方がないと思うが、こんなに多くの二酸化炭素を排出しているとは思ってもみなかったです。日常生活の中で意識したこともなかったので、今回このような機会を得て考えさせられました。

149)毎日記録していくと、意外とゴミが出ていました。特にペットボトルが多かったです。ゴミはリサイクルできるものはしっかりリサイクルすべきだと改めて思いました。

150)ガラス瓶とスチール缶が0だったのでびっくりしました。ペットボトルはけっこう多かったです。ペットボトルをなるべく使わないように心がけていきたいと思いました。

151)生活の中で使用したエネルギーを数値に表すと、詳しくわかるので感心しました。自分の二酸化炭素排出量は意外に少なかったのでおどろきました。

152)この課題からどれだけの二酸化炭素を排出しているのかを知ることができました。今後の生活改善につなげていこうと思います。この度学んだことを無駄にせず、やってよかったと思えるようにになりたいです。

153) 部活動で学んだExcelでアルミ缶などの集計をしました。毎日、缶などを数えなければならないのですが、忘れる時があり親によく怒られました。お盆に祖母の家に行った時は、外食ばかりで数えられませんでした。

154) 今年の夏は暑くてペットボトル飲料をたくさん購入してゴミが増えました。家族の協力がなければ、この調査は大変だったので家族に感謝です。

155) アルミ缶やペットボトル、食品トレーはたくさん出るが、牛乳パック、ガラス瓶、スチール缶はあまり出ないことがわかった。この課題のおかげで我が家の二酸化炭素排出量がわかりました。レベルCという結果でしたが、これからは二酸化炭素排出についてよく考えたいと思いました。

156) 暑かったのでビール、清涼飲料によるアルミ缶、ペットボトルの消費が異常に多かった。意識的に減らしていくように努めたいと思います。ガソリンも多かったのですが、喜多方～米沢間や遠征などによる遠出のためであり、仕方がないのかと思います。

157) ペットボトルやトレーなど普段気にしたことはありませんでしたが、毎日記録することによりその多さに気づき、少なくしようという気持ちが湧いてきました。

158) 一人当たり一ヶ月間のCO₂排出量が全国平均を大きく上回っていて、とてもおどろきました。このままでは環境に良くないと思ったので、CO₂を抑制できるように心がけていきたいです。食品トレーの使用量が多いので、減らしていくようにしたいです。

159) 牛乳や乳製品を毎日飲むのでガラス瓶が多く、リサイクルで回収されていくのですが、CO₂排出係数が大きいので意外でした。今年の夏は暑さが厳しく、ペットボトルも2Lや1.5Lのものを買って、少しでも本数を減らせればと思いましたが、お盆での来客が多く難しい状況でした。

160) 目標にしていたレベルBよりも多くなり、結果はレベルCとなってしまった。二酸化炭素排出量を減らすように家族みんなで節約できる部分は節約していきたいと思った。

161) 日頃何気なく使っていたものが、計算をすることによりこれだけの二酸化炭素排出量があることがわかり驚きました。少しの努力で変えられるものなのということもわかったので、今後気をつけていきたいと思いました。

162) 改めて数字で見ると、まだまだ減らせるものがあると考えさせられました。

163) 家族一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量が全国平均くらいだったので、先ずはよかったと思います。少しでも減らせるように心がけて生活していきたいです。

164) 全国平均以下を目標にしてきたが、ガソリンとガスによる排出量が多かった。来年はエコを目指して生活していきたい。

165) 我が家は常にペットボトルに入った飲み物が冷蔵庫にあり、その他に出かけるときにはコンビニで必ずペットボトル飲料を買うことが多いことに気づくことができました。少しでもゴミを減らせるように、500mlのものでなく、2Lの大きなものを購入したりして工夫していきたいと思います。

166) 二酸化炭素削減は改めて頑張らなければいけないと思った。今年の夏休みはゴミの分別をしっかり行い、エコをすることができてよかったと思いました。これからはどこでもエコができる意識を持ちたいです。

167) 家族一ヶ月で794.8kgもの二酸化炭素を排出していたことがわかり、とても多いということを実感しました。一人一ヶ月では132.5kgも出していたのでとても驚きました。今回の調査はどれだけ二酸化炭素を排出していたかを知る貴重な体験となりました。

168) 昨年はこの調査をしていないので、多かったか少なかったかわからないのですが、個人的には全体を通してペットボトルと食品トレーが多いと思いました。特にペットボトルは一日で最大7本も出た日がありました。もう少し減らせば二酸化炭素も減らせるので意識していきたいです。

169) 毎日記録することでこんなにもゴミが出ていることに改めて気づかされた。家庭と店を所有するとはいえ、二酸化炭素排出量の努力目標をかなり超える結果となりおどろいた。今回の調査を通して、地球温暖化とゴミ問題に対して一人一人が意識していくことが大事だと思った。

170) 自営のためにガソリン、軽油の数値が高くなってしまった。また今年の夏は猛暑だったのでエアコンの使用頻度も多かった。来年の調査のためにも常に意識して排出量を減らす努力をしてみようと思った。生活の中で地球温暖化を意識することを忘れないようにしたい。

171) この計算で二酸化炭素の排出量を調べられることにおどろきました。わずか一ヶ月でこんなに排出していることがわかり、世界中の排出を集めたらすごい量になるでしょう。本当に大丈夫なのかと思いました。無駄遣いせずに、節約したいと思いました。

172)アルミ缶やペットボトル、食品トレーがとて多く消費されていました。私はよくコンビニやスーパーでペットボトルなどを買ってしまうので気をつけたいです。

173)実際に計算をしてこれだけの排出量があったことがわかりました。ガソリンのCO₂排出量がとても多いことがわかったので、使用を抑えるように気をつけていきたいです。

174)一ヶ月間でペットボトルを100本以上、食品トレーも80枚以上消費していることがわかった。この度、初めて一ヶ月間でどれだけ使っているのかを知ることができました。一人当たり160.1kgもCO₂を排出しているとは、驚きしかありません。

175)約一ヶ月間だけでもこんなに多くのゴミが出ているのだと改めて感じた。ゴミの中には生ゴミも含まれていますが、アルミ缶やペットボトルもゴミとしてこんなに出ているのだと知ることができました。ガソリンは毎日使うものなのでけっこうな量になると思いました。

176)これまで家から出るゴミの量など気にしたことがありませんでしたが、予想以上にたくさん出ていると思いました。特にペットボトルはそれほど飲んでいないと思っていたのですが、一番多く出ていることに驚きました。

177)電力とガソリンの二酸化炭素排出が一番多いことがわかりました。二酸化炭素の排出を減らすために、節電や節水、ペットボトルのリサイクルなど、地球温暖化防止のために、少しでも自分にできることをしていきたいです。

178)思った以上に二酸化炭素を排出していることにびっくりしました。仕事で使うガソリンなどは減らすことが難しいが、電力やペットボトルなどは自分たちの意識次第で減らしていけると思った。自分一人だけでこんなに排出しているので、地球上のすべての人たちではすごい量を排出しているのだとおどろきました。

179)全校平均が152kgということですが、それより大きく上回っていると知り、びっくりしました。この体験を通してもっと節約していこうと思いました。家族全員で心がけていきたいです。

180)一ヶ月間でこんなに多くのペットボトルやトレーを使っていることにびっくりしました。そして、一人当たりの二酸化炭素排出量がこんなに多いことに再度びっくりしました。

181)一ヶ月間に出るゴミの量を初めて見たが、意外に多かった。リサイクルを積極的にしていきたい。

182) 今回、この活動をしてみて、改めて自分達がたくさんの二酸化炭素を排出しているということを知ることができました。二酸化炭素は地球温暖化に大きく関わっているものなので、これらの排出量を知ることでも現状を理解できたと思います。これを本校に在籍しているわれわれが理解し、考えることができれば、少しずつですが、温暖化の抑制に関わってくると思います。このようなことを日本中に伝えることができれば、日本のCO₂排出量を減らすことにつながると思いました。

183) ペットボトルや食品トレーが圧倒的に多かった。暑くてペットボトル飲料を多く飲んだからだと思いました。家庭全体で一ヶ月間に1,470kgも出しておどろきました。一人当たりでは294kgとなり、もっと少なくしていこうと思いました。

184) 昨年の学校平均の2分の1くらいだったので、排出量はかなり少ないと思いました。一ヶ月やってみて、ありがちなものが意外と少なかったのでおどろきました。しかし、やはりペットボトルはいっぱいでした。

185) 今回の調査を行って、自分の家からかなり多くの二酸化炭素が出ていることがわかりびっくりしました。ペットボトルの本数がとても多いので、ペットボトルを減らして自分の家からの二酸化炭素排出量を減らせるようにしたいです。

186) 自分が思っていたよりも多くの二酸化炭素を出していることがわかりました。はじめてやってみて、今までわからなかったことを知ることができてよかったです。二酸化炭素の量をもっと減らすことができると思うので、意識して減らしていきたいです。

187) 自分の家では水道やガスなどいっぱい使っていることがわかり、もっと節約しようと思いました。アルミ缶がいっぱい出っていたので、もう少し控えてほしいと思いました。この取り組みによっていろいろなものが捨てられていることがわかりました。

188) 今年は暑かったのでペットボトルの消費が多かった。食べ物はトレーに入っているものが多かった。一人当たりの二酸化炭素排出量が去年の全校平均152kgを大きく上回る数字だったのでおどろいた。

189) 日常生活の中でこんなにもCO₂を出していることがわかり、もっと節約して使っていかなければならないと感じました。家族人数が多いので電力や水道をたくさん使うかもしれないが一人一人の意識で減らすことは可能なので、先ず自分が取り組んでみたいと思いました。来年もあると思うので、少しでも減らしていきたいと思いました。

190)一ヶ月調べてみて、予想以上に二酸化炭素排出量が多かった。これからは節電・節水に心がけ、ペットボトルなどもリサイクルすることを心がけていきたいです。

191)この31日間で、ペットボトルを一日二本のペースで消費していたことにびっくりした。これからは水筒に水を入れたいと思う。

192)自分たちが毎日出しているゴミから二酸化炭素が出ていることにびっくりしました。これからは少しずつ二酸化炭素排出量を減らしていけるように、家族と話し合って決めていきたいです。

193)このようなことは初めて行ったので、難しかったのですが、これを見て他の人はどのような生活をしているのか、比べてみようと思った。

194)今年の夏はすごく暑く、出かけるときや仕事、学校などで水分を多く摂ったので、昨年よりペットボトルの数が多かった。

195)僕はこの課題を始めてからCO₂排出量を減らすため、ペットボトルを減らし、クーラーもあまり使わないようにしていましたが、減らすことは難しいことだと感じました。

196)家族4人でこの活動を振り返り、エアコンの設定温度を上げたりして二酸化炭素排出量の削減ができるようにしたい。

197)自分が思っていた以上に大量の二酸化炭素が出ていると思いました。特にガソリンはたくさん出ているとわかっていましたが、電力が次に多いとわかりおどろきました。これからは節電に心がけるようにして二酸化炭素を減らしていきたいです。

198)夏なのでペットボトルの数が多し。部活動でたくさんペットボトルを使っているの、冬も調べてみたい。牛乳は毎日飲んでいるので、牛乳パックは一日一本で31本でした。来年も調べるのが楽しみです。

199)この課題をやってみて、レベルAでよかったです。エコを意識して行うことで楽しくなりました。これからも環境に優しく生活していきたいです。

200)ペットボトルの数が多かった。今年は暑くて一日に何本も飲んだ。

201)一ヶ月でこんなにたくさんの二酸化炭素を出しているということがわかった。地球温暖化抑止のためにも、家計のためにも、もっと減らさなければと思った。

202)今年の夏は、部活動の遠征のとき以外はなるべくペットボトルを買わず、水筒を持つようにして、ペットボトルのゴミを出さないように気をつけた。

203)我が家の排出量は少ないと思っていたが、とても多くてびっくりした。水道や電気など必要以上に使わないように、ゴミは減らすようにしていきたいです。

204)ペットボトルの数がとても多い。今年は去年より暑くてペットボトル飲料を箱買いしたので、本数が多くなったと思います。全体的に包装容器が意外と多くてびっくりしました。一人当たりどれだけ二酸化炭素を排出しているのかわかってよかったです。

205)目標よりは多くなってしまったけど、全国平均くらいでした。夏なのでペットボトルやアルミ缶のゴミが多く出ることに気づきました。

206)私の家族は人数が多く、親戚も多いためゴミの量が他の家庭よりも多いのではないかと思います。道端に落ちているゴミは、二酸化炭素排出だけではなく、環境汚染に関わってくると思います。ゴミのポイ捨てはやめましょう。

207)CO₂排出量の多さにおどろきました。特にガソリンが多く使用されており、排出係数も高いのでかなり多くの二酸化炭素を排出してしまいました。数値がわかったので目標を立てることができます。これから排出量を減らすために頑張っていきたいと思います。

208)ガソリンが少ない方だったのでこの排出量で抑えることができました。送迎や遠出をすれば全国平均くらいにはなってしまうそうです。あとは電気代をもう少し抑えられればと思います。

209)今まで気にしていなかったことが、こうやって数字を出して見ることでできてよかったです。これからもしっかり考えてエコ生活していきたいです。

210)一人当たりの二酸化炭素排出量が少なかったと思います。レベルAでした。これからも少なくなるように気をつけて生活していきたいです。

211) 当たり前のことだが、使用量が増えれば排出量が増えることがわかった。少しでも二酸化炭素排出削減に貢献していきたい。

212) 一人当たり一ヶ月で338kgも二酸化炭素を出しているとは正直おどろきました。来年はこの数字より少しでも減らせるように努力していきたいです。

213) この期間に意識したことをこれで終わりにするのではなくて、これからも二酸化炭素排出削減を意識した生活をしていきたい。一人当たり一ヶ月の目標であった全国平均に届かなかったので、努力する必要があると思った。

214) 家族一人一人が100kg以上の二酸化炭素を出している。相当大変な状況だと思います。危機感をもって生活していきたいです。最近、地球温暖化が進んでいるとニュースで見て他人事のように思っていたのですが、原因は自分たちの生活の中にあるのだと改めて感じることができました。

215) 今回の結果を見て感じたことは、一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量がとても多いということです。電気や水道などたくさん使っていることがわかりました。だいたい全国平均くらいになっていますが、自分では多いように感じます。もう一度しっかり生活を見直していきたいと思います。

216) 毎日二酸化炭素の量を調べて、普段気づけないことを気づくことができた。これからもっと減らしていく努力をしたい。

217) 一ヶ月で何をどのくらい消費しているかがわかった。一ヶ月でたくさん二酸化炭素を排出していることがわかった。

218) 包装容器の中では飲料のペットボトルやアルミ缶が多いと思ったので、これらを減らすために水筒を持っていくようにしていきたいと思いました。

219) 一人当たりの目標は達成できませんでしたが、昨年より排出量を減らすことができました。3年生なので夏休みの課題としては最後ですが、今後もゴミ問題等を意識して生活していこうと思います。

220) 今年の夏はとても暑く、ペットボトルを一日に何本も買っていました。食品トレーも気づかないうちに増えていました。電力・水道に関しては出しっ放しつけっ放しをなくしていきたい。

221)今回改めて数字にしてまとめてみると、本当にすごい量だと思いました。気をつけているつもりでも全くできていないことがわかり、まだまだ意識が足りないのだと気づきました。今後はこの結果をもとに、さらに意識して少しずつ量を減らしていきたいと思いました。

222)どれくらいの量が多いのかわからないが、一人当たりの二酸化炭素排出量が多いように感じた。これからはできるだけゴミを減らせるように頑張って、地球環境を守っていききたいと思う。

223)毎日の食事で食品トレーは必ず出ますし、暑い夏なのでペットボトル飲料と牛乳パックはよく消費するものでありますね。

224)二酸化炭素排出量が全国平均よりかなり多くてびっくりしました。一人一人が意識して減らせるように心がけて生活したいと思いました。特にペットボトルが多いのですが、資源としての再利用も大事なことです。地球の未来のために毎日意識して生活していきたいと思います。

225)前年より缶・ペットボトルの数は意識的に減らしていたのですが、二酸化炭素の排出量は今年も全国平均を超えてしまいました。エアコンを朝から夜までつけっ放しの日がほとんどだったので、電気の使用量が大きく関係しているのかと思いました。

226)今年は暑さが続いたので、ペットボトルでの水分補給が多かった。野菜は畑のものを多くいただいたので、食品トレーが少なく済んだ。なるべく一部屋に集まり、エアコンなどの電気代を少なくしようと心がけたことがレベルAにつながったと思います。今年で最後になるので、今までの結果を思い出しながら、資源を大切に過ごしていきたいと思いました。

227)今回は全国平均を目標にしていたのですが、大きく超えてしまいました。やはり電気やガソリンが大きく関わっていることがわかりました。これから一人で暮らしていくことになるので、そのようなところに気を遣っていききたいです。

228)目標であるレベルAを達成したとともに、CO₂がどれだけ出ているのか調べることができてよかった。地球温暖化が進む中で、少しでも排出量を減らせるように、まずは自分から積極的に取り組みたい。

229)自分の家からこんなにもCO₂が排出されているのだと思いました。毎日ゴミの数を集計していくうちにゴミをあまり出さないようにしようと思うようになり、家族みんなで思いを共有するようになりました。

230) レベルDだとわかった。今後は二酸化炭素をあまり出さないように心がけていきたいと思う。まずはレベルCとなるように頑張る。徐々にレベルAに近づけるように家族で頑張っていきたいと思いました。

231) 去年と比較したが大大幅に減っており、家族みんなが電力や水道など気をつけて生活できていたと思う。毎年取り組んできたが、その度にゴミの量にはおどろきました。これからの生活にも意識していきたいです。

232) 猛暑の中、極力エアコン使用を控えたりしたので、電力は去年並みに抑えられましたが、期間中遠出が重なり、燃料代が多くかかりました。平均値をはるかに超えて残念です。

233) 電力・ガソリンの使用を控えることで、CO₂排出を減らすことができそうです。暑さとお盆の移動がなければ抑えられたかもしれません。

234) 自分の家庭のアルミ缶や牛乳パック、食品トレーなどの具体的な数字を出してみて、どれだけの量を毎日消費していたのか分かりました。普段このようなことをしないで生活してきたので、この取り組みのおかげで、地球温暖化防止に向けての意識をもつことができました。

235) 意外と一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量が多いと感じた。現代社会において消費が多くなればなるほど、個人の意識がとても重要になると思います。

236) 二酸化炭素は目に見えるものではないので、どのくらい排出しているのかわかりませんでしたが、このシートをやってみて、レベルBの目標を達成していることがわかった。

米沢中央高等学校

理科

〒992-0045 山形県米沢市中央7丁目5-70-4

TEL 0238 - 22 - 4223

FAX 0238 - 22 - 4224

2019年2月